炊きだし通信　VOL32

2009,9月

炊きだし　9月12日（土）曇り　12:00 〜五橋公園

公園はまだ工事中で、奥の終わった一部を使っての炊きだしになった。そのスペースは勾当台公園野外音楽堂前の円形ベンチと同じ形で、皆さんが日常品セットの配給と豚汁とを両手に持って腰掛けるにはとても好都合に見えた。

この日は今までお会いしていない新しい人が多い。しかも確実に増えている。社会が大変になっていることの証左であろう。それがボランティアスタッフの共通した感想だった。

本校からは学校祭直後でもあり、今回のボランティア参加生徒はなかった。毎回大人数で参加させて頂いて来たので、中休みである。「若い人たちがいつもいるのに最近慣れているものだから、今回はとてもさびしかった。」というたくさんのありがたいご感想を正平協の方達から頂いた。卒業生の一人は今回は最後までいてくれた。

中・高と小学校からまたたくさんの献品を預かって行くことができた。また、学校祭での私の拙い怪談で、４，９７６円献金を頂いたので、それも一緒に届けた。さまざまにほうとうにありがとうございました。

夜回り　　９月９日（水）晴れ　20:30〜22:00

炊き出しボランティアに時々参加しにくる卒業生の母親が、「ここの活動に来ると、日常の自分を見直すことができる。」と語ったことがある。ご本人も本校の卒業生でもあるが、聡明なご婦人である。ボランティアの原点でもあると思う。夜回りで一人歩きに慣れた自分だが、巡回していて遠慮されたり警戒されたり……。恐い思いもあり。しかし、訪問される側の人たちも、いつも一人。図書館奥のＮさんは暗いドアの奥からいつもか細い声で恐る恐る返事を返してくる。ナルホド自分みたいなオヤジに声をかけられるよりは、やっぱりオバさんパワーの声の方が安心するんだろうな、などと思いながらこの晩は回った。

Ｏさんから図書館裏のベンチの人を教わり、公園内をさんざん歩き回ったが、発見したのは夜中のギター弾き青年とアベック。それとお巡りさんに、コンバンハと挨拶されただけだった。
何しろたいへんな方向音痴なので、次回からは紙と筆記具を持参することにした。

☆次回は9月12日が炊きだしです。よろしくお願いします。